

# Npop'n えぬぽっぴん

NPO POP NEWS！ 社会貢献活動に関連したポップな話題をお伝えします。

## “まちづくり”のノウハウを学ぶ

地域のまちづくりに重要である資源活用や地域課題の解決には、資源や地域の個性や特徴を吟味し、デザイン思考によって、関係者が面白い、楽しいと取り組むことが大切です。今号では、1月23日(土)に開催した「まちづくり講座」の内容と様子をご紹介します。全国各地での実践事例とともにまちづくりとデザインの関係について学びました。

### ◆まちづくり講座～ローカルデザインの視点で地域を応援するノウハウを学ぶ～

鈴木 輝隆 (すずき てるたか) 氏：ローカルデザイン研究所【BEENS】代表・江戸川大学名誉教授

少子高齢化による地域社会の人口構造の変化、ITテクノロジーによる情報知能社会の進展、地域資源の価値変化などに伴い、地域社会の在り方が根本的に変化してきました。世の中の常識が急激に変わっていく以上、まちづくりにも、常識にとらわれずに、前向きに新しい時代を築いていく挑戦的な精神とクリエイティブな取り組みが必要です。

地域の可能性を創造的に探るために、クオリティの高いデザインや映像、メディアを取り入れて可視化していくという方法があります。地域のイメージを作ることで、誰もがすばやく問題解決の方向性を理解できるようになり、地域の特性やブランドが明確になります。デザインは情報に力を与え、情報を魅力あるものにします。

効果的なデザインをするには、まず常識を超えることです。地域の既成概念を取り外して未知化し、教科書的な発想から脱することで、新しいアイデアが生まれます。また、行政、住民、クリエイターなど、分野や年代を超えて人が集まり、様々な個性や価値がぶつかり合うことでイノベーションが自然発生的に起きていきます。大切なことは、好奇心と希望をもって、「失敗してもいい」「実験だと思えばいい」という気持ちで、楽しむことです。いくつか例を見ていきましょう。



鈴木氏



「TAKAO599MUSEUM」の可視化したデザイン



四季折々の映像が投影される



### 「TAKAO599MUSEUM」高尾山

2万点の標本や剥製を所蔵していた高尾自然科学博物館が2004年に閉館し、その跡地に、高尾の自然や歴史文化を発見・発信する場を新たに作ることになりました。プロジェクトでは、市民、市や町の職員、鉄道会社などが集まり、それぞれの希望を話し合いましたが、なかなか話が纏まりません。そこで、20代の若いクリエイター達が加わり、それぞれのアイデアを可視化しデザインによる合意形成を試みました。すると、イメージがはっきりしたことで皆の理解を得ることができ、プロジェクトはスムーズに進んでいきました。プロジェクションマッピングを使った剥製の展示スペース、みんなの集まれる広場、災害時の避難施設、地域の特産を活かしたオリジナル商品の開発と販売スペースなどを備えた施設として2015年にオープンしました。

### 「地域創生のためのデザイン戦略～じゃがいも焼酎～」北海道清里町

清里町はもともと知名度の低い町でしたが、近年摩周湖の透き通った青色の伏流水が湧き出る「神の子池」が人気になり、訪問者が訪れるようになってきました。これをきっかけに、赤字経営となっていた町の産業「じゃがいも焼酎」を立て直し、住民自身でまちの活性化に取り組みたいと思うようになりました。



焼酎のイメージ戦略

そこで、全国から気鋭のグラフィックデザイナーなどのクリエイターが集まり、焼酎やまち全体のデザインづくりが始まりました。焼酎の新製品開発やブランディング戦略はもとより、農作物を作るだけの第1次産業だけでなく、それらを利用したレストランやカフェなどの第3次産業も生まれました。さらに、まちのデザイン戦略として、混じりけの無い自然や農業を意味する純度100%や可能性100%を意味する「清里100%」という言葉デザインしてポスターやロゴなどに可視化することで、まちのイメージアップ、観光客や移住者誘致、経済振興に役立っています。

### 「明るい農法 ひまわりの町」北海道北竜町

北竜町は専業農家が多く、米作り中心の農業のまちです。1988年に「国民の命と健康を守る安全な食糧生産の町」を宣言し、安全な米を作り続けてきました。地域全体が一丸となり、無農薬、減農薬、除草剤不使用の米作りに取り組み、高水準の品質を達成し、2017年に日本農業賞（集団組織の部）の大賞を受賞しました。また、1980年に日本で初めて「ひまわりのまちづくり」を始めたまちでもあります。時代が変化するなかでまちがどう生き残っていくかという課題を「米」と「ひまわり」を活かして解決する活動を始めました。北竜町の良さを知ってもらうためには、まちの本質を伝えるデザインが重要です。最初は言葉のデザイン「日本農業賞 大賞をいただきました」を米のパッケージに貼るところからスタートしました。「いただきました」という感謝を表す言葉は受け手に伝わり、米の売り上げは倍増しました。

まちのメッセージをわかりやすく伝えるための言葉として「あかるい農法」が提案され、ロゴマークや米袋もデザインされました。あかるいという未来を示唆する言葉と農法という「食は生命」につながる言葉をつなぎ合わせ、北竜町の本質や未来を表現しています。「NPO法人あかるい農法」も誕生し、様々なモノづくり、コトづくりへと多様な挑戦が始まっています。北竜産のカラマツ材やひまわりのデザインを使用した保育園も建てられました。現在は、ひまわりが咲いていない時期でも観光客を呼び込もうと議論を進めています。



まちの  
ピンバッチ

PR用ポスター



あかるい  
農法  
ひまわり



米袋



オリジナル商品



保育園



ひまわりの里  
展望台（案）

コロナに  
負けるな!

### ◆新宿NPO協働推進センターの「ハイブリッド型」イベント開催の取り組み◆

センター施設内で開催する各種イベントへの参加人数も制限されることになった状況を受けて、より安心して多くの方にイベントへご参加いただく施策として、十分な感染症予防対策を施した会場とオンライン配信による聴講とを融合させた「ハイブリッド型」でのイベント開催を昨年10月から開始致しました。

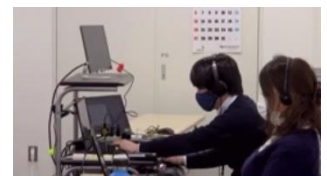
従来の会場でのイベントに加えて、オンライン配信を行うために必要な撮影・配信用機材の選定、設置・接続から、オンライン会議用の標準的ツールとなっていたZOOMを用いた配信運用手順まで、スタッフが一から手探りで準備を進めてきました。オンライン配信開始当初は勝手がわからず、さまざまな課題も続出しましたが、会場にいるスタッフが肌で感じたハイブリッド型イベント開催ならではの課題を解決する方法も続々とノウハウとして蓄積されています。

ハイブリッド型イベントでは、リアルな場でのイベントとオンライン配信を組み合わせることで、場所や会場、広さや移動時間などに縛られず幅広い年齢層への訴求も可能となるほか、主催者と参加者や参加者同士のコミュニケーション機会も増やすことが可能です。また効果的な資料の配信も可能となるため、イベントの効果を最大限に引き出すことができると考えています。実例としては、昨年11月に開催したイベントでは関東圏のみならず関西、北陸からもオンライン参加をいただきました。

今後、様々なイベントについても「ハイブリッド型」開催の実現性を模索することで、新宿区近隣だけではなく全国的なつながりを講師や参加者に体験いただける可能性がひろがるものと感じています。



ハイブリッド型  
イベントの様子①



オンライン配信  
作業の様子



ハイブリッド型  
イベントの様子②

聴かせて  
NPO!

## ※ちょっと気になるNPO団体を紹介します※

### 《 一般社団法人 読み書き配慮 》

“ 学習障害とは何か？ ～社会課題としての学習～ ”

知的発達には問題がないのに「読めない」「書けない」学習障害(LD)。努力不足と目されることが、学校と子供の間、ときには親と子の間に歪みを生んでいきます。学習障害の問題は単に「学習」の問題ではありません。一般社団法人読み書き配慮はデータベースを通じて学習障害(LD)への配慮普及を目指しています。

♪当センターで行われる「第140回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪

開催日時：2021年3月11日(木) 18時45分～20時45分

※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)

語り手：一般社団法人 読み書き配慮

参加費：無料

問合せ：新宿NPOネットワーク協議会

【電話】03-5206-6527

【Email】hiroba@s-nponet.net

## センター利用団体のイベント等の情報

イベント情報は各団体のHP等に掲載されているものを紹介しています。コロナ禍のためイベントが延期や中止になることも考えられますので、詳細については各団体にお問い合わせください。



まちぼっと ソーシャル・ジャスティス基金

「SJFアドボカシーカフェ第62回」

日時：2021年3月2日(火) 13:30～16:00

受付：13:00～13:25

参加費：無料 定員：50名 参加方法：オンライン

内容：生きる

一重い罪を犯した人の社会復帰と刑罰の在り方ー完全事前登録制 申込締切2月28日(日)

申込：<https://socialjustice.jp/20210302.html>

問合せ：まちぼっと ソーシャル・ジャスティス基金

【Email】[info@socialjustice.jp](mailto:info@socialjustice.jp)

【HP】<http://socialjustice.jp/>

新宿区ウォーキング協会 第193回例会

「令和の甲州街道を歩こうNo.3」約10.5km

日時：2021年3月9日(火) 受付：8:40～9:00

集合：京王線飛田給駅前

解散：宝泉寺12:00頃予定

(最寄駅：中央線「日野駅」)

参加費：一般400円、会員無料

問合せ・申込：新宿区ウォーキング協会

【電話】090-3217-4109

【FAX】03-3208-3531

自立生活サポートセンター・もやい

「ボランティア向けオンラインセミナー」

日時：2021年3月12日(金) 19:00～20:00

3月31日(水) 20:00～21:00

参加方法：オンライン 参加費：無料

内容：平時の活動および新型コロナウイルス感染拡大下での臨時体制を中心に説明

申込：<https://www.npomoyai.or.jp/20210120/7103>

問合せ：自立生活サポートセンター・もやい

【電話】03-6265-0137(火曜12～18時、金曜11～17時)

【Email】[info@npomoyai.or.jp](mailto:info@npomoyai.or.jp)

シャプラニール=市民による海外協力の会

「THE★FORUM 2021」～想いは繋がる！国際協力～

日時：2021年3月25日(木)～27日(土) 2泊3日

参加方法：25日、26日 オンライン(ZOOMを使用)

27日 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加費：2,000円(含27日の昼食、資料代)

募集人数：20名

対象：中学3年生～大学1年生

申込締切：3月16日(火)必着 申込：HPの申込フォームから

<https://www.shaplaneer.org/youcan/volunteer/youthteam/forum/>

問合せ：シャプラニール=市民による海外協力の会「ユース担当」

【電話】03-3202-7863 【FAX】03-3202-4593

【Email】[forum@shaplaneer.org](mailto:forum@shaplaneer.org) 日曜・月曜・祝日定休



新宿区民活動支援サイト“キラミラネット”をご利用ください

新宿区を拠点に行われている地域活動や社会貢献活動、趣味、サークル活動など、身近な地域活動の情報を一堂に集め、発信するWEBサイトです。現在、WEB会員を募集しています。(登録料は無料です)

URL：<http://shinjuku.genki365.net/>

問合せ：新宿区地域振興部

地域コミュニティ課

【電話】03-5273-3872

【FAX】03-3209-7455



掲載募集 <イベント情報/ボランティア募集など>

◆対象期間：2021年4月25日(日)～5月31日(月)

◆募集締切：2021年4月5日(月)

◆対象団体：当センター登録団体、一般利用団体

◆掲載件数：最大5件(1団体1件まで掲載できます。応募が多い場合は、当センターまたは新宿区内のイベント・登録団体のイベントを優先させていただきます。)

◆申込方法：タイトル、日時、場所、参加費、問合せ先を、新宿NPO協働推進センターまで、FAX又はメールにてご連絡ください。

# センターからのお知らせ

## 講座

### 【ファンドレイジング講座】

～資金調達を成功させるノウハウをゲット！！～

【日時】3月6日（土）13:00～17:00

【内容】ファンドレイジングとは、活動のために資金を集める行為の総称です。広い意味では、活動に必要な団体の財源すべてを指しますが、狭い意味では、寄付、会費、助成金、補助金を指します。この講座では、どんな団体であれば会員が増える？寄付や助成金を得るためには団体として何をしたら？などなど、ファンドレイジングを成功させるために必要なポイントを解説いただきます。

◆前半：ファンドレイジングの基礎と組織づくり ◆後半：戦略的ファンドレイジングを実行するために

【講師】間辺 初夏 氏（フリーランス認定ファンドレイザー）

【参加費】2,000円

## 講座

### 【助成金獲得講座】

～助成財団が教えます！助成金獲得のポイント～

【日時】3月13日（土）13:00～15:00

【内容】社会貢献活動を行う上で悩ましい問題の一つが活動資金の確保です。助成金を利用したいが、簡単に獲得はできません。助成金申請のポイントを把握して、自分達にあった助成金を獲得しましょう！

【講師】武藤 良太 氏（公益財団法人トヨタ財団プログラムオフィサー 国内助成グループ担当）

【参加費】1,000円

## 講座

### 【クラウドファンディング講座】

～世界中から共感と支援を得る仕組みを学ぶ～

【日時】3月20日（土）13:00～15:00

【内容】不特定多数の幅広い人々に活動を知ってもらうとともに、活動資金を集める非常に有効な手段として大きく利用が広がってきているクラウドファンディング。その有効性や可能性を知って、活動に活かしましょう。

【講師】久保田 徹朗 氏

（株式会社GoodMorning キャンペーンプランナー）

【参加費】1,000円

※オンライン受講もあります。詳細はホームページでご確認ください。

★会場はいずれも501会議室、会場参加定員はいずれも20名です。

★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・イベントを延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL：<https://snponet.net/>】

## 情報・お問い合わせ先

TEL：03-5386-1315

FAX：03-5386-1318

Email：[hiroba@s-nponet.net](mailto:hiroba@s-nponet.net)

URL：<https://snponet.net>

Facebook：<https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>

## アクセス

〈バスでお越しになる場合〉（いずれの停留所からも徒歩で4分）

・各線 新宿駅西口より関東バスで「小滝橋」下車（乗車時間10分前後）  
西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス（すべて）

・各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋（郵便局前）」下車  
（乗車時間5分前後）早稲田口を出て目の前、高架下の乗場

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

・東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分

・JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

## 作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター

指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会

（〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12）

編集：西郷和将 飯尾知歩 吉田定信 三上太紀子 菊池直子  
三橋雅人 島理英子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

4 センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。